

薬学ベーシックコース

JC-04

薬物治療 アップトゥデート講座④

「双極性障害の薬物療法と療養のポイント」 「精神科領域での適応外使用の話」

日時

2023年1月7日 土 13:10-16:20

オンライン開催 (Zoom利用のライブ配信)

受講料: 5,000円 (定員100名) ※本学教職員及び学生の受講料は無料
薬剤師研修センター2単位配付予定

受付期間: 2022年12月16日(金)まで

第1部

13:10～14:40

「双極性障害の薬物療法と
療養のポイント」



第2部

14:50～16:20

「精神科領域での適応外使用の話」

講師: 功刀 浩 (くぬぎ ひろし) 先生

帝京大学医学部精神神経科学講座・主任教授
同大学附属病院メンタルヘルス科診療科長

受講希望の方は下記ホームページよりお申し込みください。

※本学学生もこちらから申し込んでください

東京理科大学薬学部 医療薬学教育研究支援センター (SCCPER)

<https://sccper.sa-advance.com/>

お問い合わせ先: sccper@admin.tus.ac.jp

受講予約
お問い合わせ

「双極性障害の薬物療法と療養のポイント」 「精神科領域での適応外使用の話」

くぬぎ ひろし
講師：功刀 浩先生

帝京大学医学部精神神経科学講座・主任教授
同大学附属病院メンタルヘルス科診療科長

1986年 東京大学医学部卒
1991年 帝京大学医学部精神神経科学講座・助手
1994年 博士(医学)取得(東京大学)
1994年 ロンドン大学精神医学研究所にて研究(1年半)。
1998年 帝京大学医学部精神神経科学講座・講師
2002年 国立精神・神経医療研究センター疾病研究第三部・部長
2020年 帝京大学医学部精神神経科学講座・教授
2021年 現職

講義の概要

第一部：「双極性障害の薬物療法と療養のポイント」

第二部：「精神科領域での適応外使用の話」

【第一部】

双極性障害は躁うつ病ともいわれ、生涯罹患率2~3パーセントとされます。従来、うつ病ともに「感情障害」あるいは「気分障害」に分類されていましたが、近年うつ病とは異なった治療を行う必要があることがわかってきました。今回の講義では、双極性障害の疫学、症状、診断、気分安定薬や抗精神病薬を中心とした薬物療法の基本、日常生活指導などについてのエッセンスをお話します。本講座を聴くことによって、長期療養を要することの多い本疾患において、患者さんの生活の質(QOL)の向上に寄り添えるようになることをめざします。

【第二部】

保険診療においては、薬物を適応症に対して処方するのが原則ですが、患者に説明や同意を行い、適応外使用する場合も少なくありません。本講座では、向精神薬を適応のない精神疾患や身体疾患に用いる場合、神経疾患や内科薬を精神疾患に用いる場合などについて、やむを得ず臨床でしばしば行われるものから、「知る人ぞ知る」使い方も含め、海外での臨床試験のエビデンスやガイドラインでの扱われ方などについて解説します。それによって、「この薬が使われている本当の理由」をより深く理解できるようになることをめざします。